

浦河赤十字病院 次期内視鏡システムV P P更新および内視鏡用超音波観測
装置一式の購入にかかる公募型プロポーザルの実施について（公示）

次のとおりプロポーザルの提出を招請します。

令和7年9月9日

1. 契約者 北海道浦河郡浦河町東町ちのみ1丁目2番1号
浦河赤十字病院
院長 大柏 秀樹

2. プロポーザルの概要

- (1) 件 名：浦河赤十字病院 次期内視鏡システムV P P更新および内視鏡用超音波観測装置一式の購入
(2) 導入内容：プロポーザル説明書により確認のこと
(3) 導入場所：浦河赤十字病院（北海道浦河郡浦河町東町ちのみ1丁目2番1号）
(4) 導入期限：令和7年11月1日（運用開始）

3. プロポーザル参加資格

- (1) プロポーザルに参加することができない者
ア 当該契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者（会社更生法に基づき更生手続き開始の申し立てを行っている者、又は民事再生法に基づき再生手続開始の申し立てをおこなっている者を含む）
イ 次の各号の一に該当する事実があった後2年を経過しない者
(ア) 契約の履行に当たり、故意に工事若しくは物品の製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者
(イ) 競争入札又はせり売りにおいて、その公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格の成立を害し、若しくは不正の利益を得るために連合した者
(ウ) 落札者が契約を結ぶこと又は契約者が契約を履行することを妨げた者
(エ) 監督又は検査の実施にあたり、職員の職務の執行を妨げた者
(オ) 正当な理由がなくて、契約を履行しなかった者
(カ) 契約に関する調査にあたり虚偽の申し出をした者
(キ) 前各号の一に該当する事実があった後2年を経過しない者を、契約の履行に当たり、代理人、支配人、その他の使用人として使用した者

- (2) 浦河赤十字病院の競争入札参加資格者の資格等級において、「物品の販売」の「219：医療用機器」がA等級以上の認定を受けていること。
- (3) 広告の日から選定の日までの期間に、北海道内で行われた不正行為等に基づき、北海道又は国から指名停止等の措置を受けていないこと。
- (4) 役員（役員登記されていないが、実質的に経営に参加している者を含む）が「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」（暴力団対策法）第2条6号に記定する暴力団員又は暴力団関係者と認められる者ではないこと。また、警察当局から暴力団員が実質的に経営を支配している事業者又はこれに準ずるものとして、排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

4. 参加手続等

- (1) 担当部署：事務部会計課・調度係

所在地：北海道浦河郡浦河町東町ちのみ1丁目2番1号

施設名：浦河赤十字病院

担当者：事務部会計課 課長 阿部・調度係 大城

T E L：0146-22-5111（内線582）

F A X：0146-22-0337

Eメール：chodo1@urakawa.jrc.or.jp

- (2) 参加表明書の提出期間、場所及び方法

- 1) 期 間：令和7年9月9日（火）～9月16日（火）
（土曜、日曜及び国民の休日を除く 9時00分～16時30分）
- 2) 場 所：上記4.（1）に同じ。
- 3) 提出方法：持参すること。

- (3) プロポーザル提案書の提出期間、場所及び方法

- 1) 期 間：令和7年9月17日（水）～9月26日（金）
（土曜、日曜及び国民の休日を除く 9時00分～16時30分）
- 2) 場 所：上記4.（1）に同じ。
- 3) 提出方法：持参すること。

- (4) ヒアリング

提案書の提出者に対してプロポーザルに関するヒアリングを行います。

日 時：令和7年10月2日（木）14：00

※詳細日時、場所、留意事項等は別途ご案内します。

- (5) プロポーザルの特定基準及び審査方法

プロポーザルについては、次期内視鏡システムVPP更新および内視鏡用超音波観測装置一式に関する提案から、院内で公平かつ客観的に評価し、提案した応募の中から、最も評価の高い者を最優先交渉権者とする。

(6) 選定結果の通知

審査及び選定の結果は、提案者に対し翌日通知する

(7) 交渉権について

当院は、最優先交渉権者と、本整備事業の業務を推進するに当たっての協議を行うが、その際に、条件に隔たりが発生するなどして契約締結が困難となった場合は、最優先交渉権者以外と同様の協議を実施する。

5. その他

(1) 手続きにおいて使用する言語及び通貨：日本語及び日本円

(2) 契約書作成の要否：要

(3) 関連情報を入手するための照会窓口：上記4. (1) に同じ

(4) 上記3 (2) に掲げる競争入札参加資格の認定を受けていない者は、上記4.

(2) の期間に一般競争入札参加資格審査申請書（以下「資格審査申請書」という。）を提出し競争入札参加資格の審査を受けることができる。資格審査申請書については、浦河赤十字病院ホームページ掲載の「一般競争（指名競争）入札参加資格審査について」を参照のこと。なお、競争入札参加資格審査の手続きと参加表明書確認手続きを併せて行う。

(5) 詳細はプロポーザル説明書による。

浦河赤十字病院

内視鏡システム V P P 要件定義書

令和 7 年 9 月

I. 内視鏡システム VPP

1. 上部消化管汎用ビデオスコープ

- a) 上部消化管、及び咽頭、鼻腔の観察、診断、撮影、治療と口腔の観察、診断、撮影を行うこと。
- b) 操作部には4つのスコープスイッチを有し、フリーズ、リリース、周辺装置のリモート操作が可能であること。ワンタッチコネクターを採用し、検査セットアップと検査後のスコープ取り扱いが容易であること。

ビデオスコープ計5本を準備する。

内1本は a、b を満たしつつ、先端部外径 8,9mm 軟性部外径 8,9mm ながらチャンネル径 2,8mm ハイビジョン対応 CCD を採用し、高画質を維持しながら、先端部外形、軟性湾曲部長を短縮したことで、小回りの利く操作性が実現できること。

内1本は a、b を満たしつつ、先端部外径 9,9mm 軟性部外径 9,9mm チャンネル径 2,8mm であり新型光学レンズ採用により、32 インチ 4K モニターとの組み合わせで、近接拡大観察時に最大 125 倍の観察倍率が得られる。特定の内視鏡システムとの組み合わせにて高速面順次機能が使用可能であり、従来機種に比べて色ずれの少ない画像で観察できること。

内1本は a、b を満たしつつ、面順次方式のビデオスコープで先端部径 ϕ 9,8mm、軟性部径 ϕ 9,9mm の細径でありながら ϕ 3,2mm のチャンネル径を有していること。
送水専用の副送水チャンネル(ウォータージェット機能)が装備されているために、粘膜切除術などの手技の際に出血部位の確認が迅速容易に行えること。高弾発性の挿入性を採用しており追従性に優れているため、挿入がより容易におこなえること。

内2本は a、b を満たしつつ、先端部外径 5,4mm 軟性部外径 5,8mm の経口・経鼻挿入可能な極細径スコープであること。チャンネル径が 2,2mm であること。

CMOS イメージセンサーの採用によって極細径ながらノイズの少ないハイビジョン画質を実現し高精細な画像で診断できること。

2. 大腸ビデオスコープ

大腸の観察、診断、撮影、治療を行うこと。

計2本を準備する

面順次方式のビデオスコープで先端部外径 11,7mm 軟性部径 11,8mm、チャンネル径 3,2mmRIT 機能により追従性と挿入性に優れていること。

操作部には 4 つのスコープスイッチを有し、フリーズ、リリース、周辺装置のリモート操作等は可能であること。

ワンタッチコネクターを採用し、検査セットアップと検査後のスコープ取り扱いが容易であること。

ウォータージェット機能を有しており、観察又は治療時の腸管内の洗浄を行えること。視野角が 170° 有していること。特定の内視鏡システムと 4 K32 インチモニターとの組み合わせにて 170 倍の拡大倍率を有すること。

3. 高周波焼灼電源装置

ハイパワーカットサポートを搭載しており、モノポーラモードの PureCut、PulseCutSlow/Fast において、切り始めから安定した切開能を発揮し、スムーズな切開をサポートすること。

ファストスパークモニターを搭載しており、放電量を検出してスパークを最小限に制御することで、過剰な侵襲や組織の炭化を軽減し、特性の異なる組織でも再現性のある切開を可能とすること。

高周波出力モニター・出力時間モニター・対極板モニター・装置の加熱モニター・漏れ電流モニターは各種自己診断機能を装備していること。

分割型対極板を使用した際には、対極板の剥がれを自動的に検知する CQM システムを搭載し、異常時にはアラーム音およびエラーメッセージを表示できること。

タッチパネル操作を採用し、術前・術中の設定変更を容易に行えること。設定値メモリー機能により、事前登録した設定値を簡単に呼び出せること。

内視鏡トロリーに搭載可能なコンパクト設計であること。

4. 内視鏡洗浄消毒装置

過酢酸系消毒剤の仕様により、標準 16 分で 1 本の内視鏡を高水準消毒することができること。

水フィルターに中空糸を使用したカプセル型の新型フィルターを採用し、レバーの押し下げによるワンタッチ操作でフィルター交換が可能。交換時の水抜き、エア抜き装置によるオートメーション化がされていること。

ポータブルメモリーを介した洗浄履歴の保存・管理が可能であること。

5. 4K 32 インチモニター

2 画面表示機能により超音波内視鏡、術中内視鏡映像など複数のモダリティを扱う手技の際も、視線を移動する事なく確認できること。

4K 高解像化していること。2K 内視鏡映像であっても不足している画素をモニター側補完し、通常の 2K 画像よりも解像度のある 4K 映像を作ることが可能なこと。

高輝度から低輝度まで RGB-W と中間色の色を調整・管理することで、優れた色再現性を実現。A.I.M.E 機能によって、ノイズを増やすことなくシャープで鮮やかな画像を再現。質感の再現性を向上させ、より精細な観察の実現をサポートが可能なこと。

6. モービルワークステーション

常に見やすい位置にモニターを移動できるよう、水平方向・上下方向・傾斜角度への調整が可能であることであり、2 種類のモニターアームを採用しており、幅広いモニターを搭載することができること。

スコープを前後から掛けられること。

標準で絶縁トランスを採用しており接続しているすべての機器の電源を同時に切り替えることが可能であること。

ワークステーション内にケーブルフックがあること。

7. 内視鏡用送水ポンプ

体内管腔の内視鏡観察を容易にするための粘膜面の洗浄できること。

超音波内視鏡使用時の注水ができること。

鉗子チャンネル、副送水チャンネルのどちらからも送水可能であること。

8. 内視鏡用炭酸ガス送気装置

消化管内視鏡検査における炭酸ガス送気を最適な流量で安定供給できること。

装置内部に二重の安全機構を配備していること。

ワンタッチなボタン操作で、炭酸ガスの送気、停止を制御できること。

ガスボンベ残圧表示機能により、接続したガスボンベの交換時期を警告音により認識できること。

大きさが内視鏡汎用トロリーに搭載可能であること。

9. 内視鏡ビデオ情報システム

面順次式と同時式の 2 つの内視鏡撮像方式に対応し、Violet、Blue、Green、Amber、Red の 5 色の LED を搭載していること。

NBI 観察、RDI 観察、TXI 観察、AFI 観察、BAI-MAC 機能を使用することが可能であること。

4K 対応可能な 12G-SDI の映像信号出力を有しており 4K 対応 32 インチモニター組み合わせる事で解像感のある映像を実現することが可能。

タッチパネルが採用されていること。

浦河赤十字病院

内視鏡用超音波観測装置 要件定義書

令和7年9月

I．内視鏡用超音波観測装置

1. 内視鏡用超音波観測装置

メカニカル走査式と電子走査式のコンバイン型超音波観測装置であること。

メカニカル走査式は 12MHz、20Mhz、電子走査式は 5MHz、6MHz、10MHz、12MHz に対応可能であること。

メカニカル走査式は 2cm、3cm、4cm、6cm、9cm、12cm 電子走査式は 2cm、3cm、4cm、5cm、6cm、7cm、8cm、9cm、10cm、11cm、12cm から選択可能であること。

表示モードが B モード、FLOW モード、PW モード、THE モードがあること。

CHE モード、ELST モード、SWQ のソフトウェアがオプションとして提供可能であること。

2. 内視鏡ビデオ情報システム

面順次方式を採用しており、NBI 観察が可能であること。

上記、内視鏡用超音波観測装置との互換性があること。

構造強調、輪郭強調、適応型 IHb 色彩強調による画像協調観察が可能である。

ワイドハイビジョン表示に対応し、最適なレイアウトで内視鏡画像と関連情報が表示できること。

HD/SD 切替可能な映像信号出力(SDI、コンポーネント)を複数有しており、フルハイビジョン信号である 1080P(DVI・D)に対応していること。

3. 超音波ガストロビデオスコープ

穿刺状況の状態・把握が可能な電子走査(コンベックス)方式であること。

広範囲 180° の走査、表示が可能であること。

鉗子起上により、穿刺針方向を調整でき、鉗子チャンネルは 3,7mm であること。

ドブラ機能に対応していること。

上記、内視鏡用超音波観測装置とⅢ-2 の内視鏡ビデオ情報システムに接続可能であること。

超音波ケーブルが取り外し可能であり、取り扱いが容易であること。

4. 内視鏡用超音波プローブ

2本準備可能であること。

内1本は、超音波周波数が20MHzであること。

メカニカルラジアル走査方式であり、プローブ挿入方向に対し直角全周方向360°の画像抽出が可能であること。

外径がφ2,4mmであること。

内1本は、超音波周波数20MHzを搭載していること。

メカニカルラジアル走査方式を採用しており、プローブ挿入方向に対し、直角方向360°の画像抽出が可能であること。

挿入部外径がφ2mm(最大外径φ2,9mm)であること。

先端部にガイドワイヤルーメンを装備しており、適応ガイドワイヤーは0,035inchであること。

上記、2本がVPP導入スコープに挿入可能であること。

5. 超音波プローブ駆動ユニット

従来の超音波プローブに加え、3次元走査対応のプローブも使用可能なこと。

3次元走査では、超音波プローブの回転（ラジアル走査）に同期して自動的に一定のピッチで挿入方向に進退（リニア走査）させることができること。複数のラジアル画像データを処理することで、ラジアル画像とリニア画像を同時にリアルタイム表示できること。

1回の3次元走査により、走査範囲内の管腔全体を観察できること。

6. それに付帯する付属品

上記の内視鏡用超音波観測装置やⅢ-2の内視鏡ビデオ情報システムに接続するケーブル類を準備すること。